建築計画・構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。
なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

(1)採用したパッシブデザインについて特に考慮したこと(3つ以上の手法)

(2)客室B(車椅子使用者用客室)の室内計画に於いて、バリアフリーに配慮した設計の考え方や設計のポイント(仕様、各種寸法など)について特に考慮したこと(3つ以上)

※要点・図面・エスキースの裏面には念のため、氏名のみお書き添えください。

(3)コンセプトルームについて、設計条件や特記事項を踏まえ、既存の観光資源等を任意に想定し、「使用目的とその効果」及び「設い(内装、什器、設備機器等)について提案すること

使用目的とその効果

設い(内装、什器、設備機器等)

(4)建築物全体の「構造種別・架構形式」、「スパン割」及び「主要な部材の断面寸法」について提案すること

| | |
|---|---|
| 大梁: | 柱　: |
| 小梁: | 地中壁: |

(5)地盤条件(軟弱な地盤及び良好な地盤)及び敷地の形状(斜面地及び平坦部)を踏まえ、計画した基礎構造について、「採用した基礎構造の形式」「基礎底面のレベル」「基礎梁の寸法」等について特に配慮したこと

(6)斜面地における地下1階の構造躯体の計画に当たり、土圧・水圧対策等について特に考慮したこと

(7)各階の居室に外気を送風するためのダクトルートの計画において、空調機械室及びダクトスペースの配置について特に考慮したこと。

| | |
|---|---|
| 平成29年度一級建築士設計製図試験 答案用紙II | |
| ID:Z29 | ハンドルネーム: |